

2018年9月13日
株式会社みずほ銀行

ロシア連邦 極東投資誘致・輸出支援エージェンシー との業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）およびモスクワみずほ銀行は、本日、極東投資誘致・輸出支援エージェンシー（The Far East Investment and Export Agency、以下「FEIA」、Chief Executive Officer：Leonid G. Petukhov）との間で、日系企業の極東進出に関わる業務協力覚書を締結しました。

FEIAは、ロシア連邦極東発展省の傘下機関であり、ウラジオストク自由港地域をはじめとした極東地域における直接投資の誘致、輸出支援を目的に設立されました。投資家や輸出業者へのコンサルティング、情報支援等を通じて同地域における投資プロジェクトの実行を推進しています。

ロシア極東地域は、日本からもっとも近いヨーロッパであり、主要港湾を有し、シベリア鉄道の発着地であるウラジオストクを中心に、長らく物流拠点としての地位を確立してきました。2012年に極東発展省が設立され、優先的社会経済発展区域およびウラジオストク自由港の経済特区を整備する等、ロシア政府としても重点的に開発に取り組んでいます。豊富で安価なエネルギー資源のもと、ロシア国内でも有数の投資先である同地域には、今後も日本を含む海外からの投資が期待されます。

〈みずほ〉は2008年にモスクワみずほ銀行を開業して以来、ロシアでのお客さま向けに各種金融サービスの提供・拡充に取り組んでいます。

本覚書締結により、FEIAの持つ豊富な情報を活用した各種アドバイスを通じて、ロシア極東地域におけるお客さまの新規進出や事業拡大ニーズをきめ細かくサポートするとともに、ロシア経済の発展にも貢献していきます。

以 上